科目基礎	林小吉も口		開講年度	度 令和05年度	(==== + /2)		業科目	設計支援シス	
	疋 再牧	0042			NOE ()		±88 / \224		
科目番号		0013		科目区分 単位の種別と単	/ L #/-	専門 / 選択			
授業形態			講義			1公安X	学修単位: 2		
開設学科			電子情報システム工学専攻				専1		
開設期		後期		** ~~	週時間数				
教科書/教	材	テキスト 参考書:テ	は使用しない 参 『ィジタル映像表	考書:テサイン論(右 現(CG-ART協会) 自	波講座 田中央者) 🤊 自学自習用の問題集	ኞ考書:フ はなし	-ンタルイン	メーシグリエー	ション(CG-ART協会
担当教員		千葉 忠弘		() (() () () () () () () ()		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
		1 / 2/4 /0/32	•						
デザイン さまざま	とは何かを なモデリン 光源設定、	理解できるこ グ手法を理解 基本的なレン	と。 できること。 ダリング手法に [・]	ついて理解できるこ	と。				
<i>,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<i></i>		理想的が到達	ニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	標準的が到達し	ベルのE	 3安	未到達しべま	
				理想的な到達レベルの目安 デザインの本質、そのプロセスを		標準的な到達レベルの目安 デザインとは何かを簡潔に説明		未到達レベルの目安	
デザインとは何かを理解できる			説明できる	質、このプロこへを	. プラインCは同 きる			デザインとは何かを説明できない	
CGにおけるモデリング手法を理解 できる			CCにおける甘木的エニリンガー海		: ししにのりる本4	CGにおける基本的モデリング手法 を簡潔に説明できる		CGにおける基本的モデリング手法を説明できない	
CGにおけ 本的なレン 理解できる	ンダリング	光源設定、基 手法について	- 本的なレンダ	ロメラ、光源設定、基 リング手法について Gソフトで設定ができ	* 本的なレンダリ	CGにおけるカメラ、光源設定、基本的なレンダリング手法について 簡潔に説明できる		CGにおけるカメラ、光源設定、基本的なレンダリング手法について 説明できない	
学科の至	到達目標	項目との関	係						
学習・教育	育到達度目								
IABEE d-	-1								
教育方法	去等								
既要		現在設計	図書は、ほぼ全で 講義は、まず支払 に講義する。 さ	てCADデータ化してい 爰されるデザインのえ らにネットワークを	いる。設計の初期段 本質について述べる 用いたコラボレーシ	改階(構想)。 続い ション設	段階)も次領 て仮想現実 計、CLAS、	第にペーパーレ における設計1 データ交換な	ス化しつつある。 そ =法に関して、モデリ どについても言及す
□₩Λ ₩,	u + +>+	組むこと	。 5つの課題の打	中心に利用するので 是出を予定している。	,課題提出が履修の	こインス)条件でる	ある 。		
主意点	め方・方法 	組むこと 定期試験 験は、60 釧路高専 JABEE目 前関連科 Freeward	。5つの課題の技 が60点以上、か 点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関道 e のCGソフトを	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ	こインス)条件でる 最終成績	ある。 低は定期試験		
主意点 授業の属		組むこと 定期試験 験は、60 釧路高明 jABEE目 前関連科 Freeward	。5つの課題の技 が60点以上、か 点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関道 e のCGソフトを	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合 する。 <u>車科目:デジタルイ</u>	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ	こインス)条件で 最終成績 こ取り組	ある。 低は定期試験	\$50%、課題50 	%で評価する。 再記
主意点 受業の属	属性・履(組むこと 定期試験 験は、60 釧路高明 jABEE目 前関連科 Freeward	。5つの課題の が60点以上、か)点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関道 e のCGソフトを	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合 する。 <u>車科目:デジタルイ</u>	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に	こインス)条件で 最終成績 こ取り組	ある。 低は定期試験	\$50%、課題50 	%で評価する。 再訂
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定期試験 験は、60 釧路高明 jABEE目 前関連科 Freeward	。5つの課題の が60点以上、か)点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関道 e のCGソフトを	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合 する。 <u>車科目:デジタルイ</u>	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に	こインス)条件で 最終成績 こ取り組	ある。 低は定期試験	\$50%、課題50 	がまたかけて課題に取り のので評価する。 再記 のある教員による授
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定期は、60 釧路EE目 前関連科 Freeward 修上の区分	。5つの課題の が60点以上、か)点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関道 e のCGソフトを	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合 する。 <u>車科目:デジタルイ</u>	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に	ニインス ・	ある。 低は定期試験	〕 读50%、課題50 □ 実務経験	%で評価する。 再訂
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定期試験 験は、6専 到路EE目 前関連科 Freeward 修上の区分	。5つの課題の が60点以上へか 0点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合 する。 <u>車科目:デジタルイ</u>	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。」 メージ ンストールし課題に	こインスで発生でで、 最終成績 こ取り組 である。	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標	〕 读50%、課題50 □ 実務経験	%で評価する。 再記
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定期試験 験は、6専 JABEE目 前関連科 Freeward 修上の区分 ニング	。 5つの課題の が60点以上で 6点以上で合格と 目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを ☑ ICT 利用 授業内容 デザインとは何	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 車科目:デジタルイ) 各自のパソコンにイ	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に □ 遠隔授業対応 デイン論)	ニインスで 最終成績 ニ取り組 ご ご ど イ	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標 ンとは何か	© 実務経験	%で評価する。 再記
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定期試験の 験は、高専 JABEE目 前関連科 Freeward 修上の区分 ニング	。 5つの課題の が60点以上で 6点以上で 6目標 C:100% 標 d-1 目: なし 後関 e のCGソフトを ☑ ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 モデリングの概	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合っ する。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるデサ か(工学におけるデサ 会、建築設計におけ	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に □ 遠隔授業対応 デイン論)	ニインスでを 最終成績 こ取り組 ごザイイ デザデデデ	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標 ンとは何か ンとは何の ンとは何の ンとは何の	ま務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる	9%で評価する。 再記のある教員による授業
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定規試験の 験は高の専 JABEE目 前関連科 Freeward 修上の区分 ニング	。 5つの課題の抗が60点以上で合というに以上で合というには、からには、 で:100%標 d-1目:なし 後関。e のCGソフトを回じ ICT 利用	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に □ 遠隔授業対応 デイン論)	ニインスで 最終成績 こ取り組 デザイ デデデデデデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデアデ	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標 ンとは何か ンとは何か ンとは何か ンとは何か ンとはのか ンとはのか こと3次デ	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる かを理解できる この違いを	%で評価する。 再記 のある教員による授 な 理解できる
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	<u></u> 属性・履作 ディブラー <u>:</u> 動	組むこと 定規は、60専 JABEE目 前関連科 Freeward 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	。 5つの課題の が60点以上で 60点以上で 1目標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを ☑ ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 モデリングの概 CAD設計につい CGのなかのモデ	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、各自のパソコンに ・課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に □ 遠隔授業対応 デイン論)	ニインスでる 最終成績 こ取り組 デザイイ デデデデー こ次元の CGのな	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標 ンとは何か ンとは何か ンとは何か こADと3次デ いかのモデ!	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる たCADの違いを リングを理解で	9%で評価する。 再記 のある教員による授い 3 理解できる きる
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	禹性・履 (〒ィブラー:	組むこと 定規は、60専 JABEE目 前関連科 Freeward 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	。 5つの課題の が60点以上で 60点以上で 6回標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 でのなかのモデ CGのなかのモデ	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるデサ か(工学におけるデサ な、建築設計におけて でリングの理解 ・リングの理解	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に 遠隔授業対が 「一」 遠隔授業対が 「イン論」 またデリング、	こインスできる。 最終成績 こ取り組 ご デザイイ モデデリス CGのた CGのた	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標 ンとは何か ンとはは何か ンろしと3次デ いのモデ!	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる いを理解できる している。 し	9%で評価する。 再記 のある教員による授 できる きる きる
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	<u></u> 属性・履作 ディブラー <u>:</u> 動	組むこと 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	。 5つの課題の が60点以上で 60点以上で 6回標 C:100% 標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 でこり でのなかのモデ CGのなかのモデ 優れた既製デザ	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に	こインスできる。 最終成績 こ取り組 ご デザイ モンスでで	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標か ンとは何か ンとは何かのと3次デリ いかのモデリ 既製デザイ	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる CCADの違いを リングを理解で リングを理解で ンのモデリング	9%で評価する。 再記 のある教員による授 5 理解できる きる きる
主意点 受 業 の原 〕 アクテ	<u></u> 属性・履作 ディブラー <u>:</u> 動	組むこは 原 原 原 原 原 原 原 原 原 の の の の の の の の の の の の の	。 5つの課題の が60点以上で 60点以上で 6回標 C:100% 信標 C:100% 信 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 でGのなかのモデ CGのなかのモデ 優れた既製デザ 優れた既製デザ	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こインスできる。 最終成績 こ取り組 ご デザイ モンスでで	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標か ンとは何か ンとは何かのと3次デリ いかのモデリ 既製デザイ	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる いを理解できる している。 し	9%で評価する。 再記 のある教員による授 5 理解できる きる きる
主意点 受業の原 」 <i>アク</i> ラ 受業計画	<u></u> 属性・履作 ディブラー <u>:</u> 動	組むこは 原 原 原 原 原 原 原 原 原 の の の の の の の の の の の の の	。 5つの課題の が60点以上で 60点以上で 6回標 C:100% 信標 C:100% 信 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 でGのなかのモデ CGのなかのモデ 優れた既製デザ 優れた既製デザ	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	エイン (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標か ンとは何かい ンとは何かいのデザイ いかのデザイ 既製デザイ	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる CCADの違いを リングを理解で リングを理解で ンのモデリング	のある教員による授 のある教員による授 な 理解できる きる きる きる
主意点 受業の原 」 <i>アク</i> ラ 受業計画	<u></u> 属性・履作 ディブラー <u>:</u> 動	組むこは 原 原 原 所 原 の の の の の の の の の の の の の	。 5つの課題の が60点以上で60点以上で60点以上で60点以上で60点以上で60点以上で600% 自標 C:100% 信標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 でGのなかのモデ CGのなかのモデ 優れた既製デザ 複雑な形状のモ	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合 する。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるデサ か(工学におけるデサ な、建築設計におけ でリングの理解 ・リングの理解 インのモデリング作 インのモデリング作 インのモデリング作 デリング(後期中間)	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ある。 はは定期試験 むこと。 の到達目標か ンとはは何か ンとははのかのモデリ かかのモデリイ はいかのモデリイ ないないです	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる にCADの違いを リングを理解で ンのモデリング ング手法が理解	のある教員による授 のある教員による授 な理解できる きる きる きる ができる ができる ができる
主意点 受業の原 」 <i>アク</i> ラ 受業計画	<u></u> 属性・履作 ディブラー <u>:</u> 動	組む記録の 解析 Septiment Sept	。 5つの課題の が50点以上で 5つ点以上で 50点以上で 100% 標 d-1 目: なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 デザインとは何 で そのなかのモデ でのなかのモデ 優れた既製デザ 複雑な形状のモ) カメラ、光源に	中心に利用するので 是出を予定している。 つ全課題の提出が合っ する。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるデサ か(工学におけるデサ か(工学におけるデサ か(工学におけるデサ でリングの理解 ・リングの理解 インのモデリング作。 デリング(後期中間) ついて	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	エイン 条 に 取り 組 ボデザデデデン に で の に に の に に の に に に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。 。 。 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	ある。 別は定期試験 むこと。 の到達 目標のか ンとははした。 の到達は何のか ンとはののデザイイン ののでデザイイン ののでででする。 ののではないない。 ののではない。 ののでではない。 ののでででする。 ののではない。 ののでではない。 ののではない。 ののでではない。 ののでではない。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでい	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解できる いを理解で リングを理解で リングを理解で ンのモデリング ング手法が理 光源設定が理	のので評価する。 再記のある教員による授証のある教員による授証を含まる きる きる きる ぎができる ずができる なができる なができる
主意点 受業の原 」 <i>アク</i> ラ 受業計画	<u></u> 属性・履行	組む記録(の事) JABEE目前	。 5つの課題の が60点以上で300線 月点以上で100% 信標 d-1 目: なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何 デザインとは何 モデリン計にのなかのモデ 優れた既製デザー 復れた既製デザー 複雑な形状のモ カメラ、、光原に 基本的なレンダ	中心に利用するので 足出を予定している。 つ全課題の提出が合っ する。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるデサか(工学におけるませか) 会、建築設計におけて デリングの理解 インのモデリング作。 デリング(後期中間) ついて リング技法と演習	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	エインスでを 最終成績 取り組 デザイイリー で優れた 優れた でのか にのか にのか にのか にのか にのか にのか にのか に	ある。 は定期試験 むこと。 の <u>ンと</u> はに何かい ンとはは何かいののデザイ ないののデザイイ ないのも、 のののでですが、 のののででは、 のののでですが、 のののでですが、 ののでは、 のののでですが、 ののでは、 ののでは、 ののでですが、 ののでは、 のでは、	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる 力ングを理解で リングを理解で リングを理解で ンのモデリング ング手法が理 光源設定が理 法と性質を理解	のある教員による授うのある教員による授うのある教員による授うを含る きる きる きる きる ができる ができる なできる なできる
主意点 受業の原 」 <i>アク</i> ラ 受業計画	<u></u> 属性・履行	組む記録(の専リス) AB EEE科	。 5つの課題の が 50点以上で 50点以上で 50点以上で 60点以上で	中心に利用するので 出と予定している。 でとはままましている。 ではまままする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 別は定期試験 むこと。 の <u>ン</u> とととと。 の <u>ン</u> ととは何は何方 いかのデザ モ 設ののデザイ リレースの レレースの方	□ 実務経験 理解できる 理解できる かを理解で いかを理解で リングを理解で ノングを理解で ンのモデリンク ング手法が理 光源設質を理角 法と性質を理角 法と性質を理角	のある教員による授うのある教員による授うできる きる きる きる きる きる きる きる きる きる きる きる きる き
主意点 受業の原 ファクラ	属性・履作・不 ディブラー: 画 3rdQ	組むこは (Appendix Not September 1) Appendix (Appendix Not September	。 5つの課題のが が60点以上でで100% 信以上で100% 信標 d-1 目: なし 後財 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとは何が デザインとは何がでしたいでであるかのでででいる。 でのなかのもででいるであるができますがですができます。 優れた既製デザザーであるができますができます。 優れた既製デザーであるができますができます。 優れた既製デザーであるができますができます。 場対している。 優れた既製デザーであるができますができます。 を対している。 優れた既製デザーであるができますができます。 最初であるレンシダーでは、 構想段階のモデータをはいる。 構想段階のモデータをはいる。 構想段階のモデータをはいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	中心に利用するので 出というでは とはを を を を を を を を を を を を を を	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 別は定期試験 むこと。 のンンングADののでデザイン のかかのでデザイイイン のラススののくり のラススののり	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 理解できる からさいで アングを理解で フングを理解で フングを理解で フングを理解で ンので デリング ンがで 、ング手法が理 、	のある教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を含むさる。 きる がができる ができる 解できる 解できる 解できる
主意点 授業の属 ファクラ	<u></u> 属性・履行	組む記録の 開記 に 開記 に 開記 に 所で区分 に 上づ 周 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 13週	。 5つの課題のが 5つの課題のが 50点以上で:1000% 信標 d-1 目: なし 後財 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとはの例で でデザインとははののでのなかのもででのなかのもでででのなかのもででであるかのもででである。 優れたに、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、できます。 優れたに、といるでは、というでは、といるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	中心に利用するので。 出と課題の提出が合うする。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイークリングのでは、 でリングの理解 インのモデリングの理解 インのモデリング作りでしたがです。 インのモデリング作りでは、 デリング技法と演習 リング演習 リング演習	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 別は定期試験 むこと。 のンととグレンスADののデデリイイ のフとはははいる。 到達は何何かいかりまず モ 設ののくり ではいるでデザイイ リースフライン ファックラー では、カースカーのです。 では、カースカーのでは、カーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カースカーのでは、カーの	理解できる 理解できる 理解できる でのできるでのでは、 でののでは、 でののででは、 でののででは、 でののででは、 でののででは、 でののででは、 でののでは、 でののでは、 でのでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるで	のある教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を含むさる。 きる きる ができる 好できる 解できる 解できる 解できる なんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん できる がんしん しゃく しん いんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん
注意点 授業の属	属性・履作・不 ディブラー: 画 3rdQ	組むこは 原体	。 5つの課題のが	中心に利用するので 出というでは とはを を を を を を を を を を を を を を	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	ある。 別は定期試験 むこと。 のンンンA かか既既 木 メレレプトンAD ののデディー 標向のでデディイーリー。 のファイン デリイイーリー。 ははと3 モモディイーリー。 ででできまったりりフレーション	□ 実務経験 □ 実務経験 理解できる 正CADのを理解で Jングを理解で Jングを理解で Jングを理解で Jングをデリンク 光源設質を理解で 光源設質を理解 法と性モデリンク からモデリンク 設計の特性と 引	のある教員による授いのある教員による授いできるきるができるいできるいできるいできるいできるいできるいできるいできるいできるいできるい
主意点 授業の属 ファクラ	属性・履作・不 ディブラー: 画 3rdQ	組む試 60専 JABEE目前 Freeward 18 上 の 区分	。 5つの課題のが 5つの課題のが 50点以上で:1000% 信標 d-1 目: なし 後財 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとはの例で でデザインとははののでのなかのもででのなかのもでででのなかのもででであるかのもででである。 優れたに、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、できます。 優れたに、といるでは、というでは、といるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	中心に利用するので。 出と課題の提出が合うする。 車科目:デジタルイン 各自のパソコンにイークリングのでは、 でリングの理解 インのモデリングの理解 インのモデリング作りでしたがです。 インのモデリング作りでは、 デリング技法と演習 リング演習 リング演習	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 対	理解できる 理解できる 理解できる でのできるでのでは、 でののでは、 でののででは、 でののででは、 でののででは、 でののででは、 でののででは、 でののでは、 でののでは、 でのでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるで	のある教員による授いのある教員による授いできるきるができる。 解できる 解できる 解できる ができる ができる ができる 解できる なできる なできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる
主意点 授業の属 ファクラ	属性・履作・不 ディブラー: 画 3rdQ	組む記式 60専目前 Freeward 10 を 10	。 5つの課題の が60点以上ではの に100% 信標 d-1 目 : なし 後財 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業 内へとは何 受がインとはのの でのなかのモデ 優れた既製がのつたで 優れた既製がののもデ 優れた既製がのもいたのないのを 優れた既製がのもいたで 優れた既製がのもでで 優れた既製がのもででで 優れたのもないのでででしますが、 基本的のないのででがある。 基本的のないのでである。 を対すが、 とはのでは、 でのないのでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	中心に利用するので。 中心に利用するのでる。 見出を予度している。 つ全課題の提出が合っている。 一般を対している。 を相目:デジタルイン を自のパソコンにイークリングにはおける。 では、はいるでは、ではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 対	□ 実務経験 理解できる 理解できるる かたADグを理解で シングを理解で シングを理解で シングを理解で シングを理解で ングをで リングをで メングをで メンクをで シングをで シングを シングを シングを シングを シングを シングを シングを シングを	のある教員による授いのある教員による授いできるきるができる。 解できる 解できる 解できる ができる ができる ができる 解できる なできる なできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる
主意点 受業の原 アクラ 受業計画	属性・履作 ディブラーコ 画 3rdQ 4thQ	組むこ式 (6 purple of the purple	。 5つの課題のが が60点以上で100% 信標 c:100% 信標 d-1 目:なし 後関 e のCGソフトを 図 ICT 利用 授業内容 デザインとはのでで でのなかのモデ 優れた既製がでしていて 優れた既製があるレンデ 優れた既製があるといるででであるがのでデザチーでであるがのででであるがのででであるがである。 を有りますがである。 基本的なレンデザーでは、 基本的なレンデザーでは、 基本的なレンジがである。 基本のないでであるがである。 は、このには、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	中心に利用するのでる。 中心に利用するのでる。 中科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるるデッカンでは、 でリングのでで、 でリングのモデリングのモデリング作。 インのでで、後期中間に フリング技法と演習 リング技法と演習 リングはるデザイン によるデザイン にないて リングが演習 リングを表示が、 により、 でリングが表しまでである。 カート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージンストールし課題に	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 対	□ 実務経験 理解できる 理解できるる かたADグを理解で シングを理解で シングを理解で シングを理解で シングを理解で ングをで リングをで メングをで メンクをで シングをで シングを シングを シングを シングを シングを シングを シングを シングを	のある教員による授いのある教員による授いできるきるができる。 解できる 解できる 解できる ができる ができる ができる 解できる なできる なできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる
主意点 受業の原 ファクラー 受業計画	属性・履作 ディブラーコ 画 3rdQ 4thQ	組むこ式 (6 purple of the purple	 5つの課題のがいるは、	中心に利用するのでる。 中心に利用するのでる。 中科目:デジタルイン 各自のパソコンにイ か(工学におけるるデッカンでは、 でリングのでで、 でリングのモデリングのモデリング作。 インのでで、後期中間に フリング技法と演習 リング技法と演習 リングはるデザイン によるデザイン にないて リングが演習 リングを表示が、 により、 でリングが表しまでである。 カート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に 「」 遠隔授業対所 デイン論) るモデリング、 成成 成成 成就験は実施しない	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 対	□ 実務経験 理解できるる 理解ではなると ことできるのでは、 できるのでは、 でき	のある教員による授 のある教員による授 のある教員による授 ができる きる ができる ができる 解できる 解できる 解できる 解できる にきる にきる にきる にきる にきる にきる にきる にきる にきる に
注意点 受業の原 アクラ 受業計画 数期	属性・履作・不成の 3rdQ 4thQ コアカリコ	組む試(60専目) 前間	。 500 mm m	中心に利用するのでる。 中心に利用するのでる。 中心に予定の 上のである。 中心に予定の 中心に予定の 中のパソコンレにイ かいでではいいである。 一のパソコンレにイ かいではいいではいいではいるである。 でである。 中科自のパソコンレにイ かいではいるです。 でではいるではいるです。 でではいるです。 でではいるです。 でではいるです。 でではいるです。 でではいるです。 でではいるです。 でではいるです。 でいるではいるです。 でいるではいるです。 でいるではいるです。 でいるではいるです。 でいるではいるです。 でいるではいるではいるではいるではいる。 でいるではいるではいるではいるではいる。 でいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいる	、各自のパソコンに 課題提出が履修の 格の条件である。 i メージ ンストールし課題に 「」 遠隔授業対所 デイン論) るモデリング、 成成 成成 成就験は実施しない	こく 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ある。 対	□ 実務経験 理解できるる 理解ではなると ことできるのでは、 できるのでは、 でき	のある教員による授うのある教員による授うできるきるができる解できる解できる解できる解できる解できるができる解できるができる解できるがを作成できるがを作成できる。これで

	•						
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	0	0	0	50	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0